

「感謝よとどけ」

向井 結愛

私のお母さんはいつもやさしい。でも、私にお父さんはいない。でも、参観の時は来てくれたりしている。今は、お母さんと二人ぐらしだからでこそ色々お母さんにめいわくをかける。家事もしてくれたりしているのに私の前ではつらそうでしんどそうな所を見せない。そこが私のお母さんのすごい所だと思う。おばあちゃんに聞いた、私が見ていないときお母さんはなみだを流してたんだって。私が次、お母さんを見たときはそのなみだはなくていつものお母さんだった。なみだを流していても私の前では、いつものやさしいお母さん。私の前で泣いてもいいのに……と思うこともある。でも、お母さんにはなにかあるんだと思うから私は心の中だけで心配する。本当はもっと「だいじょうぶ？」と言ってあげたい、だけどそれがお母さんのいやなことならまたその事を思い出してしまうから私はあまりふれないようにしている。大変なことばかりなのにそれをうまくこなしてるお母さんがすごい。ちょっとは私にたよってくれてもいいのにと思ってしまう。お母さんだけじゃなくても私もてつだうことをふやしたい。それでもいつも家事、勉強などを教えてくれたり色々してくれているんだ。その事全てに感謝している。二人なのに色々めいわくかけてごめんね。色んな事が出来るようになるね。大好きなお母さんに届いてください。いつもありがとう。